

【平成26年度 活動報告】

- ★4月10日 「患者の声を届ける会」(当会・環境汚染等から呼吸器病患者を守る会・NPO法人相模原アレルギーの会・日本喘息患者会連絡会・近大ひまわり会、の患者会5団体で構成)へ参画。
- ★4月18日 米国研究製薬工業協会2014年第1回インフォメーション・セッションに参加。
- ★5月9~11日 第26回日本アレルギー学会春季臨床大会に出席。
- ★5月18日 平成26年度春季講演会アトピー性皮膚炎・ぜんそく「アレルギー対策と治療—新たな発見」を、総会も併設して開催。
[後援:東京都、(社)日本アレルギー協会、(財)日本アレルギー協会]
・総会 平成25年度の活動実績・決算報告、26年度活動計画が承認された。
- 第一部講演1「家庭でできるアトピー管理のポイント」
埼玉医科大学病院アレルギーセンター教授 中村晃一郎先生
- 講演2「シックハウス症候群—アレルギー疾患との関連」
元国立病院機構相模原病院副臨床研究センター長 長谷川真紀先生
- ミニ講演会 アトピー性皮膚炎 東京通信病院皮膚科部長 江藤隆史先生
ぜんそく 関東中央病院呼吸器内科部長 坂本芳雄先生
- 第二部「講師を囲んでのQ&A」各参加者の個別の質問に講師が一つ一つ回答した。
今回より講演の動画撮影を行い、会員限定サイトで視聴できるようにした。
- ★5月28日 NHK首都圏ネットワークのテレビ取材を受け、漢方クリーム的事件についてのコメントとアトピー性皮膚炎の正しい治療について相談の出来る患者会として紹介された。
- ★6月19日 喘息患者の声を届ける会に出席。
- ★7月17日 日本財団ゆめちょフォーラム「災害現場にもっと市民の力を！」に出席。
- ★7月26日 パナソニックにて、喘息患者さんのための聞く・読む・話す朗読の会に出席。
- ★8月5日 夏休み特別患者交流会(喘息部門)開催
- ★8月9日 夏休み特別患者交流会(アトピー部門)開催
- ★8月21日 米国製薬工業協会2014年度第2回インフォメーションセッションに参加。
- ★9月6日 医療基本法3団体協議会へ参画。
- ★9月13日 患者の声協議会 第27回勉強会「医療連携を患者視点から切る」において、当会がアレルギー疾患患者の立場で講演。
- ★9月14日 喘息患者3団体との意見交換会へ出席。
- ★9月22日 「医師と患者、ふたつの視点で考えるアトピー性皮膚炎」を九州大学皮膚科教授の古江増隆先生と当会共著で発刊
- ★10月12日 13日 地域医療政策シンポジウム(地域医療計画ガイドライン)に出席
- ★10月19日 日本医師会開催の医療基本法シンポジウムへ出席。
- ★11月16日 創立45周年記念講演会「有効な炎症指標を使い確実な自己管理を」—標準治療・呼気NOの普及に向けて—を、フォーラムミカサ エコにて開催した。
[後援:東京都・(社)日本アレルギー学会・(財)日本アレルギー協会・(独)環境再生保全機構] 創立45周年記念事業として7名の顕彰者に感謝状と記念品を贈呈
来賓として(財)日本アレルギー協会理事長宮本昭正先生より祝辞をいただく
- 第一部 講演1「今考え直す、ステロイドの塗り方」
自治医科大学医学部 皮膚科学講座 教授 大槻 マミ太郎先生
- 講演2「ぜんそくをわかりやすくする—呼気NO検査の可能性—」
国立病院機構相模原病院 アレルギー科医長 粒来 崇博先生
- 講演3「薬剤師の立場より」
・「ステロイド外用薬を正しく使うには」
東京通信病院 薬剤部副薬剤部長 大谷 道輝先生
- ・「多様化する吸入薬の適正な使用方法」
帝京大学医学部附属病院薬剤部 呼吸器・総合内科病棟担当 前田 光平先生
- 第二部 「講師を囲んでQ&A」参加者の個別の質問に、講師が一つ一つ回答した。
- ★12月5日 米国製薬工業協会インフォメーションセッション模範記者会見に参画。

- ★12月10日 「PROGRESS IN MEDECINE」(医者向け月刊誌)2014年12月号「皮膚科領域の外用治療を見直す」に「患者への指導－患者のモチベーションを高める外用指導」を寄稿。
- ★12月22日 アレルギー患者の声を届ける会を開催。
- ★1月15日 「アレルギー患者の声を届ける会」として厚生労働省権衡保健局疾病対策課へアレルギー疾患対策基本法施行に向けての厚生労働相宛要望書を手交。
- ★2月4日 東京都福祉保健局を訪問し医療費公費助成問題で懇談。
- ★2月5日 アルフレッサ(株)発行の薬剤師向け冊子「Fresh Leaf」に患者会からのメッセージとして「患者がステロイド外用剤を安心して使えるような的確な説明を」を寄稿。
- ★2月28日 ぜんそく実践講座「吸入器の使い方・選び方」(講師:ミネ薬局清瀬店管理薬剤師 中島謙司先生)と患者交流会を開催。
- ★3月1日 アトピー性皮膚炎実践講座「外用薬の特徴と使い方」(講師:東京通信病院薬剤部薬品情報室 眞部遥香先生)と患者交流会を開催。
- ★3月15日 (独)環境再生保全機構代10期環境保健調査研究成果発表会「大気汚染による健康影響に関する総合的な研究」に出席し、最新の知見を聴講。

<その他>

- ★ 月刊誌「あおぞら」を毎月発行し、会員等への最新治療情報提供を行った。
- ★ 電話・メール・FAX・来所等による療養相談が年間217件(うちメール相談21件)あり、相談に対し、ピアカウンセリング、患者の立場からの助言、専門医の紹介などの対応を行った。
- ★ 講演会や実践講座の開催を新聞に掲載し、一般の方々の参加も募ることにより社会への啓蒙に貢献した。
- ★ ホームページ・Facebookの更新を随時行い、喘息やアトピー性皮膚炎に悩む多くの方に情報発信や当会活動の報告を行った。
- ★ メールマガジンを毎月発行し、会員外の患者にも情報提供を行った。
- ★ イオン主催の「黄色いレシートキャンペーン」の参加を継続するとともに、ダイエー黄色いレシートキャンペーンにも参加した。

【27年度事業計画】

1. 患者による療養相談
毎週火曜・土曜日に電話等による療養相談に対し、またメール相談に対しては随時、ピアカウンセリングや患者の立場からの助言、専門医の紹介等を行うことによりアレルギー疾患患者やその家族のサポートを行う。
2. 月刊紙「あおぞら」の発行
気管支喘息やアトピー性皮膚炎等についての正しい知識を広め、患者の方々のQOL向上に寄与することを目的として機関紙を発行する。
3. 専門医による講演会の開催
疾病についての正しい知識の普及と最新治療法の情報を提供するため、著名な専門家を講師に迎え、講師に直接質問もできるQ&Aやパネルディスカッションも併設して年2回開催する。
4. 患者交流会の開催
当会の事務所において、患者同士の情報交換や悩みを話し合う場として毎月第三土曜日に開催する。
5. アレルギー週間協賛行事の開催
アレルギー週間において、実践講座等の勉強会を開催する。
6. ホームページ・Facebookの運営
ホームページを運営し、インターネットを通じて患者に必要な正しい情報を提供する。
7. メールマガジンの発行
メールマガジンを発行し、会員外にも広く正しい情報の提供を行う。
8. 患者会として社会への情報発信
患者の立場からの意見を患者代表として学会やマスコミ等に提言を行う。
9. 他の団体との交流
他の患者会や団体および企業との交流を深め、アレルギー性疾患に関する啓蒙活動等を行う。
- 10 創立50周年へ向けて
創立50周年記念行事へ向けて、検討会を発足し、準備を始めていく。